（別添資料１）

事業所名　児童デイサービス　コドモノ

支援プログラム

作成日　2025 年　3 月　26 日

法人（事業所）理念	こどものとの成長を喜びに		
支援方針	・子どもたちが安心して通い、楽しく学べる環境を提供します。一人ひとりの特性やペースに寄り添いながら、無理なく成長できるよう支援を行い、子どもたちが安心できて、また来たいと思える居場所づくりを大切にしています。 ・どんな小さなことでも成功体験を大切にし、自己肯定感を育み、自信をつける支援を行います。 ・集団活動・工作・運動などの活動の中に考える力・判断する力・協力する力を育てる要素を組み込み、楽しみながら自然にスキルを習得できるよう支援します。 ・多様な経験・挑戦できる場を提供し、その中での驚きや感動を大切に、子どもたちが自分の可能性を広げられるよう支援します。 ・自分の気持ちを表現し、選択することを通じて、自ら行動する力や主体性を育てます。		
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり

	活動内容	支援内容	
本人支援	朝の会	・児童が一日の流れを理解し、安心して活動に取り組めるように支援します。また、座って落ち着いて参加することを目指し、集団の中での基本的なルールやコミュニケーションの力を育みます。 ・天気カードを選ぶ、人数を数える、日付の数字を読むなど、視覚的な情報を活用しながら、自然に言葉を引き出せる機会を提供します。 ・指差しやカードの交換など、言葉が出にくい児童にも参加しやすい方法を取り入れます。名前を呼び、返事をすることで、他者との関わりを意識し、発声の機会を作ります。 ・歌を歌う活動を取り入れ、リズムに合わせて楽しく声を出せるようにします。 ・必要に応じて、座る位置を決める、視覚的な合図を用いるなどの工夫を行い、スムーズに参加できるようにし、集団活動への意識を育てます。	健康・生活 言語・コミュニケーション
	自由遊び	・自由遊びの時間を活用し、児童が自発的に遊びながら、物の共有や言葉のやり取りを通じて他者との関わりを広げられるよう支援を行います。 ・一人遊びを尊重しつつ、興味や関心のある活動を共有できるような場面を作ります。 ・職員が児童の遊びに寄り添いながら、少しずつ他者との交流が生まれるようサポートします。 ・他児童が同じ遊びに関心を持った際には、声かけを行い、無理のない形で遊びの輪を広げます。 ・児童同士のやり取りがスムーズに進むよう、必要に応じて職員が仲介しながらサポートします。 ・言葉での表現が難しい児童に対しては、ジェスチャーや視線の交換を活用しながら、コミュニケーションのきっかけを作ります。 ・他者と関わることが楽しいと感じられるよう、成功体験を積み重ねられる場面を意識的に作ります。 ・児童が他者と関わることができた際には、「できたね」「一緒に遊べて楽しかったね」と肯定的なフィードバックを行い、自信につなげます。	運動・感覚 言語・コミュニケーション
	運動	・ルールのある遊びを取り入れながら、自然と体をたくさん動かせるよう工夫します。 ・遊びの要素を大切にし、成功体験を積み重ねることで、運動への意欲を引き出します。 ・ボールを使った運動を取り入れ、手と目の協調性や判断力を養います。 ・瞬時の判断が求められる活動を通じて、「見る力」「考えて動く力」を伸ばします。 ・簡単なルールを設けることで、順番を守る、相手を思いやるといった社会性を育みます。 ・職員が適宜ルールの調整やサポートを行い、児童が無理なく取り組めるように配慮します。 ・職員も積極的に参加し、児童と一緒に楽しみながら活動を行います。 ・運動に対する自信を持たせ、継続的なチャレンジを促します。 ・子どもたちが楽しみながら身体を動かし、運動能力や感覚の発達を促せる環境を提供しています。 ・運動を通じて、バランス感覚や体幹の強化、協調性の向上を目指し、一人ひとりの発達段階に合わせた支援を行っています。 ・様々な遊具を活用し、体幹の安定やバランス感覚を養いながら、楽しく運動に取り組めるよう工夫しています。またバランス・体幹トレーニングを通じて、姿勢の保持や運動のコントロール力を高めます。 ・色の識別・形のマッチングの要素を取り入れ、身体を動かしながら認知機能の発達も支援します。 ・達成感を味わえるよう、難易度を調整 しながら取り組みます。 ・友達と一緒に取り組むことで、順番を待つ・ルールを理解するなどの社会性も育みます。	認知・行動 運動・感覚 言語・コミュニケーション
	工作	・創造的な工作活動を通じて、児童の発想力やデザインの工夫を引き出し、達成感を味わうことで自信を高めることを目的とします。 ・指先を使う細かな作業を通じて、微細運動能力の向上を目指します。 ・自由に発想し、自分なりのデザインを工夫できるよう、幅広い素材や道具を用意します。 ・児童が作業中に迷ったり、失敗をしたりしても、肯定的なフィードバックを行い、意欲を引き出します。 ・できた作品に対して、具体的に褒め、自己肯定感を育みます。 ・テーマに沿った面白いデザインを考えられるかなど、競争を楽しみながら挑戦できる工夫をします。競争の中でもそれぞれの良さを認め合う機会を作ります。 ・一つの作品を完成させることで、「作り上げた」という達成感を感じられるよう支援します。 ・完成作品を披露する場を設け、「自分の作品を認めてもらえた」という成功体験につなげます。	認知・行動 運動・感覚 言語・コミュニケーション・行動
	排泄・着替え	・自立した排泄や着替えの習慣を身につけられるよう、個々の成長に合わせた支援を行っています。 ・必要な児童には定期的な声かけやトイレへの誘導を行い、排泄のリズムを整えられるよう支援します。トイレ後の手洗いなどの生活習慣も併せて促し、衛生管理の意識を育てます。 ・排泄時には下衣の前後を確認しながら、自分で正しく身につける練習を行います。また、肌着を整える・服をたたむなどの動作を通じて、日常生活に必要なスキルを少しずつ習得できるよう支援します。 ・小さな成功を積み重ねることで、自信につなげていきます。 ・子どもたちが安心して取り組めるよう見守りながら、排泄や着替えを身につけられるようサポートしていきます。	健康・生活
	集団活動	・言葉でのやり取りが難しい児童には、ジェスチャーや視線の交換など、さまざまな方法でコミュニケーションを取る機会を提供します。 ・視覚的支援を用いて、流れや役割をわかりやすく示し、スムーズに活動に参加できるよう支援します。 ・料理作りなど、児童が役割を分担し、お互いに助け合いながら進める活動を行います。 ・「誰がどの作業をするか」、「どの順番で進めるか」などをみんなで決め、主体的に参加できるようサポートします。 ・集団で協力することで「みんなでやると楽しい」「一緒にやるとできた！」という経験を積み重ねます。 ・一人ひとりの役割や貢献を認める声かけを行いながら、チームワークの大切さを伝えます。 ・活動の中で失敗があっても、前向きな声かけを行い、挑戦する意欲を引き出します。 ・失敗をチームで共有し、どうすればうまくいくかを話し合うことで、協力する力を育てます。 ・児童の特性に応じて、最初は見学や部分的な参加から始め、少しずつ役割を持てるように支援します。 ・できたことや楽しかったという気持ちを大切にし、集団活動への参加意欲を高めます。 ・自然と英語に親しめる環境を作ります。アルファベットや簡単な英単語に触れるために、歌や映像の活用、ビンゴやカードゲームなどの遊びを通じて楽しみながら学べる工夫を行います。	人間関係・社会性 言語・コミュニケーション 認知・行動

家族支援	・保護者の方が安心して子育てができるよう、相談支援や情報提供を行い、子どもの発達や生活のサポートを共に考えていきます。 ・子育てに関する悩みや不安を気軽に相談できる場を提供し、保護者の気持ちに寄り添いながら支援します。 ・事業所での様子を定期的にフィードバックし、家庭でも取り入れやすい関わり方を共有します。 ・児童が家庭と事業所の両方で安心して過ごせるよう、保護者と連携しながら一貫した支援 を行います。 ・必要に応じて関係機関とも連携し、児童とその家族にとって最適なサポートが提供できるよう努めます。	移行支援	・スムーズに次の環境へ適応できるよう、児童一人ひとりの特性やニーズを考慮し、移行先の学校や関係機関と連携しながら、適切な支援を提供します。 ・移行先の学校や関係機関と、支援方針・支援内容・児童の様子・保護者の意向について丁寧に共有し、一貫した支援が継続できるよう努めます。 ・進路や移行先についての相談援助を行い、本人や保護者が安心して選択できるよう支援します。 ・事業所と移行先が連携を保ち、児童が無理なく環境の変化に対応できるようフォローを行います。
地域支援・地域連携	・地域の中で安心して成長し、適切な支援を受けられるよう、関係機関との連携を大切にしています。 ・児童の発達状況や支援の必要性について、園や学校と情報共有を行い、一貫した支援を実施します。 ・入園・入学・進級に向けて、園や学校と連携しながら、児童がスムーズに新しい環境へ適応できるようサポートします。 ・児童が他の事業所を併用している場合、それぞれの支援が効果的に機能するように、必要に応じて情報共有を行い、一人ひとりに適した支援方法を検討します。 ・必要に応じて、児童相談所や家庭児童相談室と連携し、適切な支援を受けられる体制を整えます。 ・保護者や関係機関の要望に応じて、個別のケース会議を実施し、支援の方向性を確認・共有します。	職員の質の向上	児童や保護者にとって質の高い支援を提供できるよう、研修や評価を通じて職員のスキルアップを図ります。 ・年間計画を立て、定期的に事業所内研修を実施し、支援スキルの向上を図ります。児童発達の理解、支援技法、コミュニケーションスキルなど、現場で活かせる内容を中心に研修を実施します。 ・職員の支援の質を定期的に評価し、フィードバックを行うことで、成長をサポートします。振り返りの機会を設け、強みを活かしながら課題の改善につなげます。 ・最新の知識や支援技術を学ぶため、外部研修や講習会への参加を推奨 し、職員の専門性を向上させます。また、研修で得た知識を職員間で共有し、事業所全体の支援力向上につなげます。 ・職員一人ひとりの成長を支え、質の高い支援を提供できる環境づくりを進めていきます。
主な行事等	家族参加型クリスマス会（12月）、家族参加型運動会（6月）、夏祭り（8月）、公園遊び（水遊び、雪遊びを含む）、施設体験（水族館や動物園など）、調理体験、ショッピングモールで買い物体験、デイキャンプ、外食（マナー学習）、公共交通機関を使う練習、		